

## ニュースリリース

2022年8月4日  
メルクエレクトロニクス株式会社

※本ニュースリリースはドイツ・ダルムシュタット8月3日発表英文ニュースリリースの抄訳です。

### メルクとマイクロン、半導体産業における 持続可能なガスソリューションの開発に向け提携

- 半導体製造向けの低 GWP ガスソリューション開発のためのパートナーシップ
- マイクロンにてメルクの代替エッチングガスの実用化試験中



2022年8月3日付、ドイツ・ダルムシュタット発、世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業である Merck（以下メルク）は、革新的なメモリおよびストレージソリューションのグローバルリーダーであるマイクロンテクノロジー（Micron Technology, Inc.）と提携し、半導体製造向けの地球温暖化係数（GWP）の低いガスソリューションの開発を開始しました。マイクロンは現在、1年にわたるメルクとの段階的な協業を経て、メルクの研究開発チームが提供する低 GWP 型の代替エッ



## ニュースリリース

チングガスを従来の高 GWP エッチング材と置き換えた場合のプロセス性能を検証する実地試験を行っています。将来的に、より持続可能な新しいガスソリューションを半導体製造に恒久的に導入することを目指しています。

メルク経営執行委員兼エレクトロニクス・ビジネス CEO であるカイ・ベックマン (Kai Beckmann) は次のように述べています。「サステナビリティの追求には他社との協力が不可欠です。バリューチェーン全体でさらに多くのことを達成するためには、自社内にとどまらず、他社とも協力して新たな道を開拓していくことが求められます。メルクと同じく、マイクロンもサステナビリティに関する高い目標を掲げており、当社がマイクロンの目標達成に貢献できることを非常に光栄に思います」

マイクロンのオペレーション・セントラルチームおよびプロキュアメント部門の CVP を務めるジョン・ホイットマン (John Whitman) は次のように述べています。「当社は、世界全体の事業活動による温室効果ガスの排出を 2030 年までに 2020 年比 42%削減する新たな目標を設定し、事業運営上の『ネットゼロ』の達成に向け、多面的なアプローチで取り組んでいます。これには、高性能な排ガス処理装置への投資、GWP が低いガスの優先使用、エネルギー効率の高い機器の調達、化石燃料を原料としない再生可能エネルギーの調達などが含まれます。メルクのような革新的なパートナーと共に目標に取り組めることを大変嬉しく思います」

メルクとマイクロンは、ビジネスパートナーとして長年にわたり強い信頼関係を構築してきました。両社にとって、低 GWP 型の新ガスの実地試験は、サステナビリティの分野における協業の始まりにすぎません。両社は現在、ドライエッチングやチャンバークリーニングに使用されている高 GWP 型エッチングガスに代わる新材料の開拓に取り組んでいます。これが実現すれば、両社ともにサステナビリティ目標の達成に一步近づくことができます。

2022 年 5 月、気候変動問題に取り組む国際的枠組みである [SBTi \(Science Based Targets initiative / 科学的根拠に基づく目標に向けたイニシアチブ\)](#) は、メルクの気候変動への取り組み目標が気候科学の現状に即したものであることを認証しました。これはつまり、メルクが世界の平均気温の上昇を 1.5 度に抑えることに貢献し、パリ協定の取り決めに満たしていることを意味します。メルクは、2030 年までに温室効果ガスの直接排出 (スコープ 1) および間接排出 (スコープ 2) を 50%削減することを約束しています。メルクにおける排出ガスの大部分は、エレクトロニクス産業向けの特殊化学薬品の製造工程に起因しています。この工程を改善することで、メルクは将来的に排出量



## ニュースリリース

を大幅に削減することができます。同時に、バリューチェーン全体における間接排出（スコープ 3）を、2030 年までに付加価値額 1 ユーロあたり 52%の削減を目指します。基準年はいずれも 2020 年です。メルクの取り組みの進捗状況は、同社の「[サステナビリティレポート 2021](#)」をご覧ください。

### メルクについて

Merck（メルク）はヘルスケア、ライフサイエンス、エレクトロニクスの分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。より豊かで持続可能な暮らしを実現し何百万人もの人々の日々の生活にプラスの変化をもたらすため、遺伝子編集技術の進歩や最も困難な病気を治療するための方法の発見から、デバイスのインテリジェンスの実現まで、約 60,000 人の従業員が技術の一層の進歩を目指しています。2021 年は 66 カ国で 197 億ユーロの売上高を計上しました。

メルクは 1668 年に創業された世界で最も歴史の長い医薬・化学品会社で、創業家が今でも、上場企業が率いるグループの株式の過半数を所有しています。メルクの名称およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では EMD セローノ、ミリポアシグマ、EMD エレクトロニクスとして事業を行っています。

### メルクエレクトロニクス株式会社について

メルクエレクトロニクス株式会社はメルクのエレクトロニクス・ビジネスの日本法人です。液晶材料の輸入販売および半導体製造用特殊化学品の研究開発、販売を行っています。メルクのエレクトロニクス・ビジネスの詳細については <https://www.merckgroup.com/jp-ja/company/who-we-are/electronics.html> をご覧ください。

### Micron Technology, Inc.（マイクロンテクノロジー）について

Micron Technology, Inc.は、情報活用のあり方を変革し、すべての人々の生活を豊かにするために、革新的なメモリおよびストレージソリューションを提供するリーディングカンパニーです。顧客第一主義を貫き、テクノロジーの最前線でリーダーシップを発揮し続け、洗練された製造技術と事業運営を妥協なく追求するマイクロンの製品ポートフォリオは、DRAM、NAND、NOR の各種メモリからストレージ製品まで多岐にわたり、Micron®または Crucial®のブランドを冠した高性能な製品を多数展開しています。マイクロンで生まれた数々のイノベーションは、データの活用を加速すると同時に、人工知能や 5G といった最先端分野の進歩の基盤として、データセンターからインテリジェントエッジ、さらにはクライアントコンピューターとモバイルをまたいだユーザーエクスペリエンスまで、さまざまな事業機会を新たに生み出し続けています。Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU) の詳細については [micron.com](https://micron.com) をご覧ください。

